

# 5 律令国家の成立と奈良時代

## 1 律令国家のしくみと平城京

(1) **大宝律令の制定**…701(大宝元)年、唐の律令にならい、

**大宝律令**を制定。全国を支配するしくみを細かく定める。

① **律令国家**…律令にもとづいて政治を行う国家。**律**は刑罰の決まり。**令**は政治を行ううえでの決まり。天皇と**貴族**が中心となって運営。

② 役所…**神祇官**と**太政官**の**二官**と太政官の下に**八省**。

(2) **平城京**…710年、新しい都として**平城京**が作られた。

① 唐の都**長安**にならって、**奈良盆地**北部につくられた。

② 平安京に都を移すまでの約80年を**奈良時代**という。

③ 天皇の住居や役所のある**平城宮**を北部の中央に置き、**碁盤**の目のように区画。

④ 東市と西市では、各地の産物などが売買された。

⑤ 唐にならって、**和同開珎**などの貨幣を発行。

(3) **地方のしくみ**

① 地方…多くの国に区分し、国ごとに**国府**を置き、都から**国司**を派遣。国はさらにいくつかの郡に区分され、地方の豪族を**郡司**に任命。国司が郡司を指揮。

② 現在の福岡県に**大宰府**、宮城県に**多賀城**。それぞれ九州地方と東北地方の政治や外交・防衛、軍事の拠点として設置。

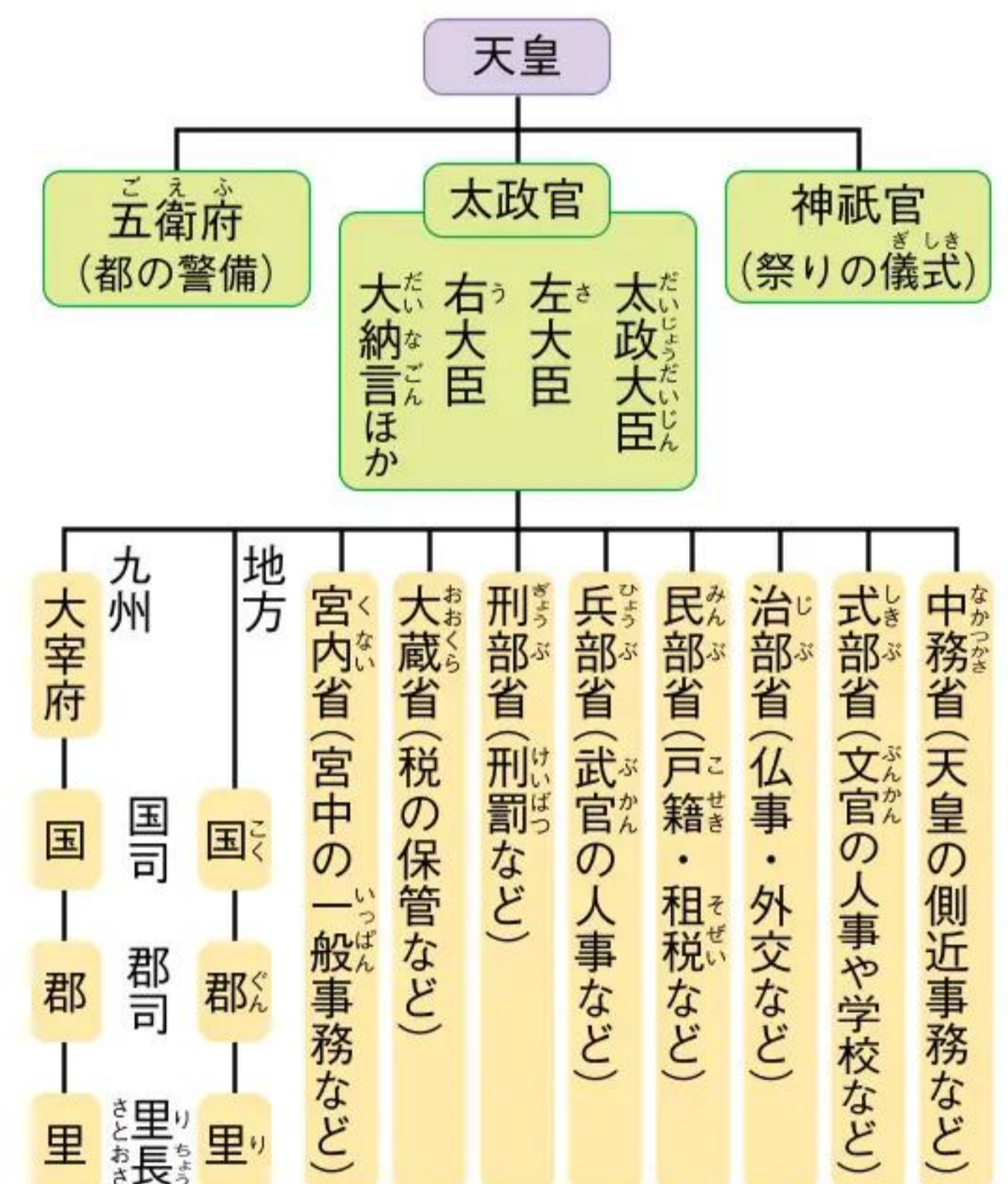
③ **五畿七道**…全国を、都周辺の**畿内**(5つの国)と7つの道(道路沿いの国々の集まり)に分けた。都と地方を結ぶ道路を整備。駅を設け、乗りつぎ用の馬を用意。

年代	できごと
630年	遣唐使の派遣が始まる。
701年	大宝律令が制定される。
708年	和同開珎がつくられる。
710年	平城京に都を移す。 このころ『古事記』『日本書紀』『風土記』がつくられる。
741年	国分寺・国分尼寺建立の詔が出される。
743年	墾田永年私財法が出される。 大仏造立の詔が出される。
752年	東大寺の大仏ができる。
753年	鑑真が唐から日本に来る。
759年	鑑真が唐招提寺を建てる。 このころ『万葉集』がつくられる。

### ◆和同開珎



### ◆律令による役所のしくみ



## 2 奈良時代の人々の暮らし

(1) **人々の身分**

① **良民**と、奴婢(奴隷)などの**賤民**とに区別され、6年ごとにつくられる**戸籍**に登録される。

② 貴族…良民のうち、200人ほどの貴族にさまざまな特権。→役所での高い地位。税や兵役の免除。高い給与と多くの土地。特権は子孫にも引きつがれた。

③ 奴婢…全人口の1割以下。売買の対象とされ、奴婢以外との結婚を禁止され、子孫も奴婢とされた。

(2) **人々の暮らし**

① **班田収授法**…戸籍に登録された6歳以上のすべての人々に、性別や身分に応じて**口分田**をあたえ、死ぬと国に返させる。

② 人々の負担…**租・調・庸**などの税、**防人**(九州北部の防衛)などの兵役、**雑徭**などの労役。調や庸は都まで運ぶ。→負担が重く、逃亡する人々も出る。

### ◆人々の負担

租	稲(収穫量の約3%)
調	絹、糸、真綿、特産物
庸	布(麻布)…労役10日のかわり
雑徭	地方での労役(年間60日以下)
兵役	食料・武器は自己負担し訓練を受ける。一部は都1年または防人3年。
公出挙	稲を貸し付け、高い利息を取る。

### 3 土地の私有と荘園<sup>しやうえん</sup>

#### (1) 開墾の奨励<sup>かいこん しやうれい</sup>

- ① 人口の増加。→口分田の不足。→開墾の奨励。
- ② **三世一身法**<sup>さんぜ いっしんのほう</sup>の制定…723年、新しく開墾した土地は、一定期間自由に売ったりゆずったりできる。

#### (2) 墾田永年私財法<sup>こんでんえいねん しざいのほう</sup>の制定…743年、開墾をすすめるため

**墾田永年私財法**を制定。新しく開墾した土地（墾田）は、租を負担する必要はあるが、私有を認めた。子孫に伝えたり売ったりしてもよいとした。

- ① 貴族・寺院・郡司…現地の農民を使って開墾を行ったり、墾田を買ったりして、私有地を広げる。
- ② このような貴族や寺院の私有地は、**荘園**と呼ばれるように。→公地・公民<sup>こうち こうみん</sup>の原則がくずれ始める。

#### ●墾田永年私財法（部分要約）

<sup>てんびやう</sup>天平15年5月27日 次のような詔が出された。  
<sup>みこのり</sup>養老7(723)年の規定では、墾田は期限が終われば、ほかの土地と同様に国に収められることになっている。しかし、このために農民は意欲を失い、せっかく土地を開墾しても、またあれてしまう。今後は私有することを認め、期限を設けることなく永久に国に収めなくてもよい。  
(続日本紀)

### 4 天平文化<sup>てんびやう</sup>

#### (1) 遣唐使の派遣<sup>けんとうし はけん</sup>…唐の制度や文化を取り入れるため、遣唐

**使**をたびたび派遣した。

#### (2) 仏教と社会<sup>ぶつぎやう</sup>

- ① **聖武天皇**<sup>しょうむ てんのう</sup>と光明皇后<sup>こうみょうこうこう</sup>は、仏教の力にたよって国家を守ろうと、国ごとに**国分寺**<sup>こくぶんじ</sup>と**国分尼寺**<sup>こくぶんにじ</sup>、都には**東大寺**<sup>とうだいじ</sup>を建てる。東大寺には金銅の**大仏**<sup>だいはつ</sup>。大仏づくりに行基<sup>ぎょうき</sup>が協力。
- ② **行基**<sup>ぎょうき</sup>…一般の人々の間で布教。橋や用水路をつくった。
- ③ **鑑真**<sup>かんじん</sup>…日本にわたろうとして何度も遭難し、盲目になりながらも来日した唐の僧<sup>そう</sup>。正しい仏教の教えを広めた。

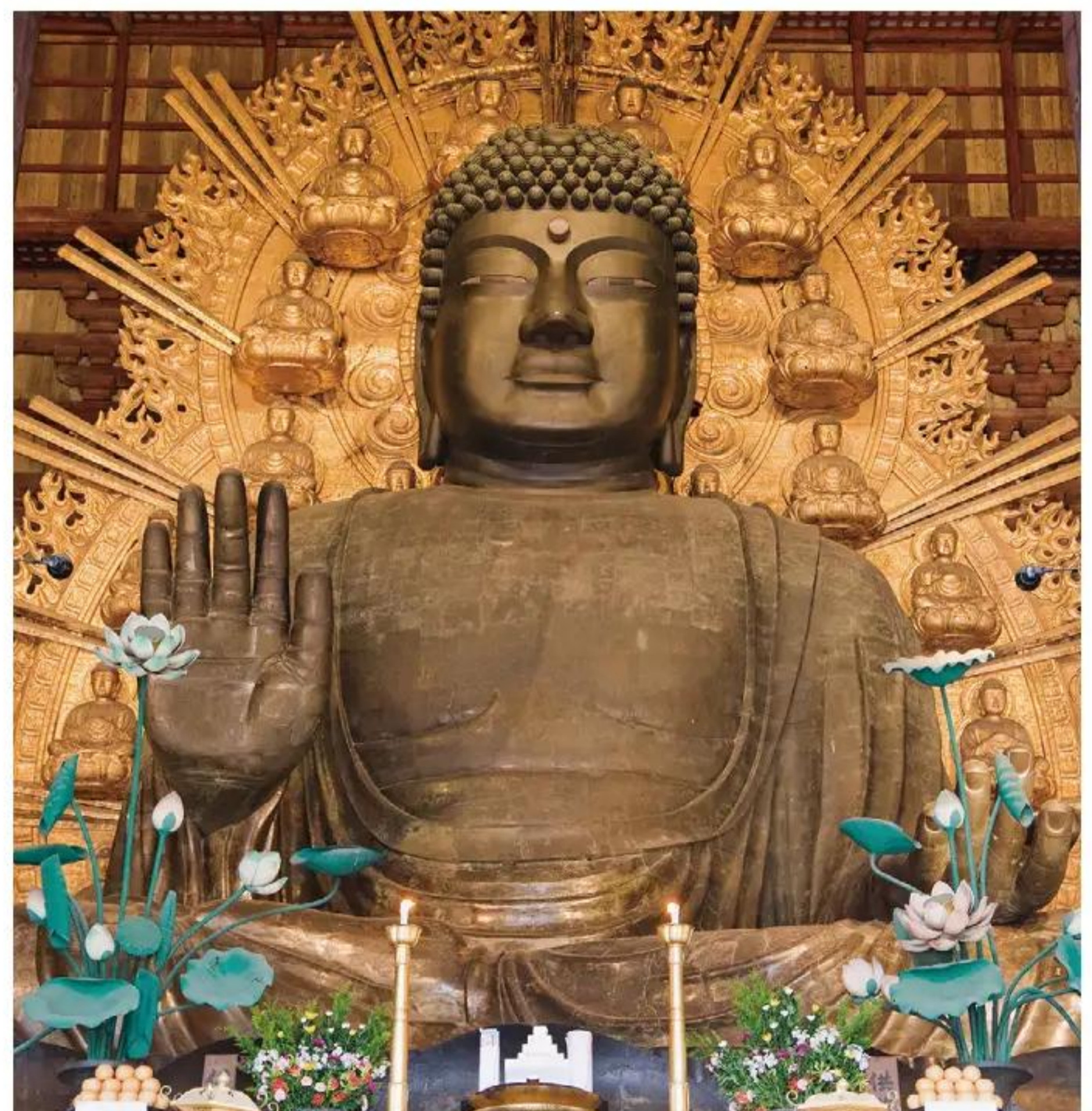
#### (3) 天平文化

- ① 聖武天皇のころの「天平」年間を中心とする文化を**天平文化**という。
- ② 仏教と唐の文化の影響<sup>えいきやう</sup>を受けた国際色豊かな文化。西アジアとインドの文化の影響も受ける。
- ③ 東大寺の**正倉院**<sup>しょうそういん</sup>…聖武天皇の遺品などを収めた宝庫。シルクロードを通して西アジアやインドから唐に伝わり、遣唐使が持ち帰った工芸品も収蔵。**校倉造**<sup>あぜくらづくり</sup>でつくられる。
- ④ **唐招提寺**<sup>とうしょうだいじ</sup>…鑑真が開いた。

#### (4) 歴史書と万葉集<sup>まんようしゅう</sup>

- ① 『古事記』と『日本書紀』…神話や伝承、記録などをもとにまとめた歴史書。
- ② 『風土記』…地方の国ごとに、自然、産物、伝承などを記した地理書。
- ③ 『万葉集』…天皇や貴族、防人や農民などの和歌約4500首を収める。大伴家持<sup>おおとものやかもち</sup>がまとめたといわれる。

#### ◆東大寺の大仏



#### ◆正倉院



防人の歌  
 から衣<sup>ころも</sup>  
 すそに取りつき  
 泣く子らを  
 置きてぞ来ぬや  
 母なしにして  
 (『万葉集』)

すそに取りついて  
 泣く子どもたちを置  
 いたまま来てしまっ  
 た。その子の母もい  
 ないのに。

# 6 平安京と貴族

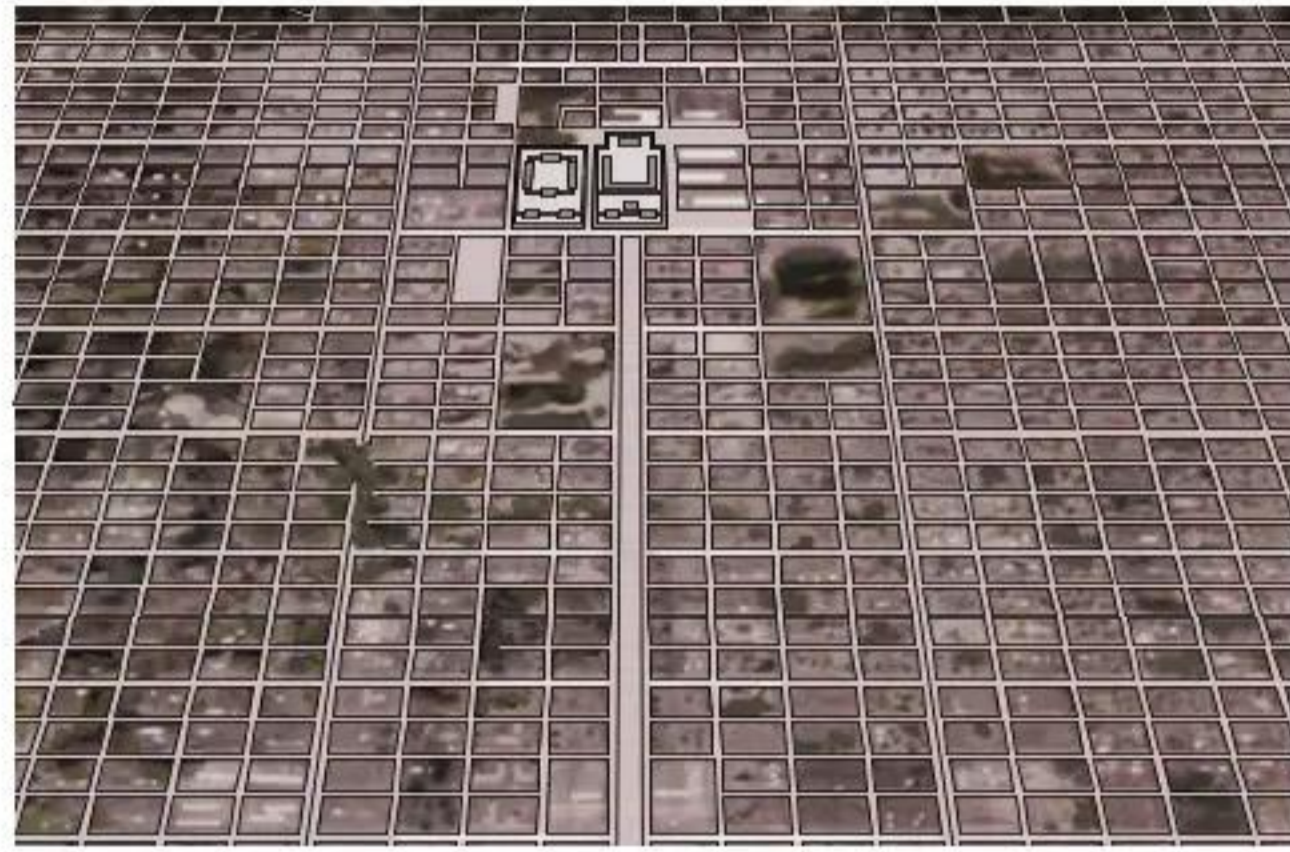
## 1 平安京

### (1) 律令政治の乱れと平安京

① 奈良時代の後半、貴族や僧の勢力争いが激化。

② **桓武天皇**は、仏教勢力からはなれ、**◆平安京の復元模型**

新しい都で政治を立て直そうと考え **長岡京**（現在の京都府）、次いで



**平安京**（現在の京都市）に都を移した。

③ 平安京に都が移されてから鎌倉幕府が成立するまでの約400年間を**平安時代**という。

### (2) 桓武天皇の政治

① 役所を整理。国司の監督強化。東北地方と九州地方以外で一般の人々の兵役をやめる。

② 戸籍のいつわりが増加。→班田収授法がくずれる。

### (3) 東北地方の蝦夷

① 朝廷に従おうとしない**蝦夷**を征服するため、朝廷はたびたび大軍を送る。→アテルイにはね返される。

② **坂上田村麻呂**を**征夷大將軍**に任命。アテルイを指導者とする蝦夷の抵抗をおさえて東北地方に勢力をのばす。→胆沢城を築く。

## 2 仏教の新しい宗派と東アジアの変化

(1) 仏教の新しい宗派…9世紀の初め、唐にわたった**最澄**と**空海**が仏教の新しい教えを日本に伝える。

① 最澄…**天台宗**を伝え、比叡山に**延暦寺**を建てる。

② 空海…**真言宗**を伝え、高野山に**金剛峯寺**を建てる。

③ 人里はなれた山奥の寺で学問や厳しい修行を行う。→貴族たちに広く信仰される。

(2) **東アジアの変化**…唐のおとろえと往復の危険を理由に**菅原道真**が**遣唐使の中止**を提案し、その後の派遣がなくなる。

## 3 摂関政治

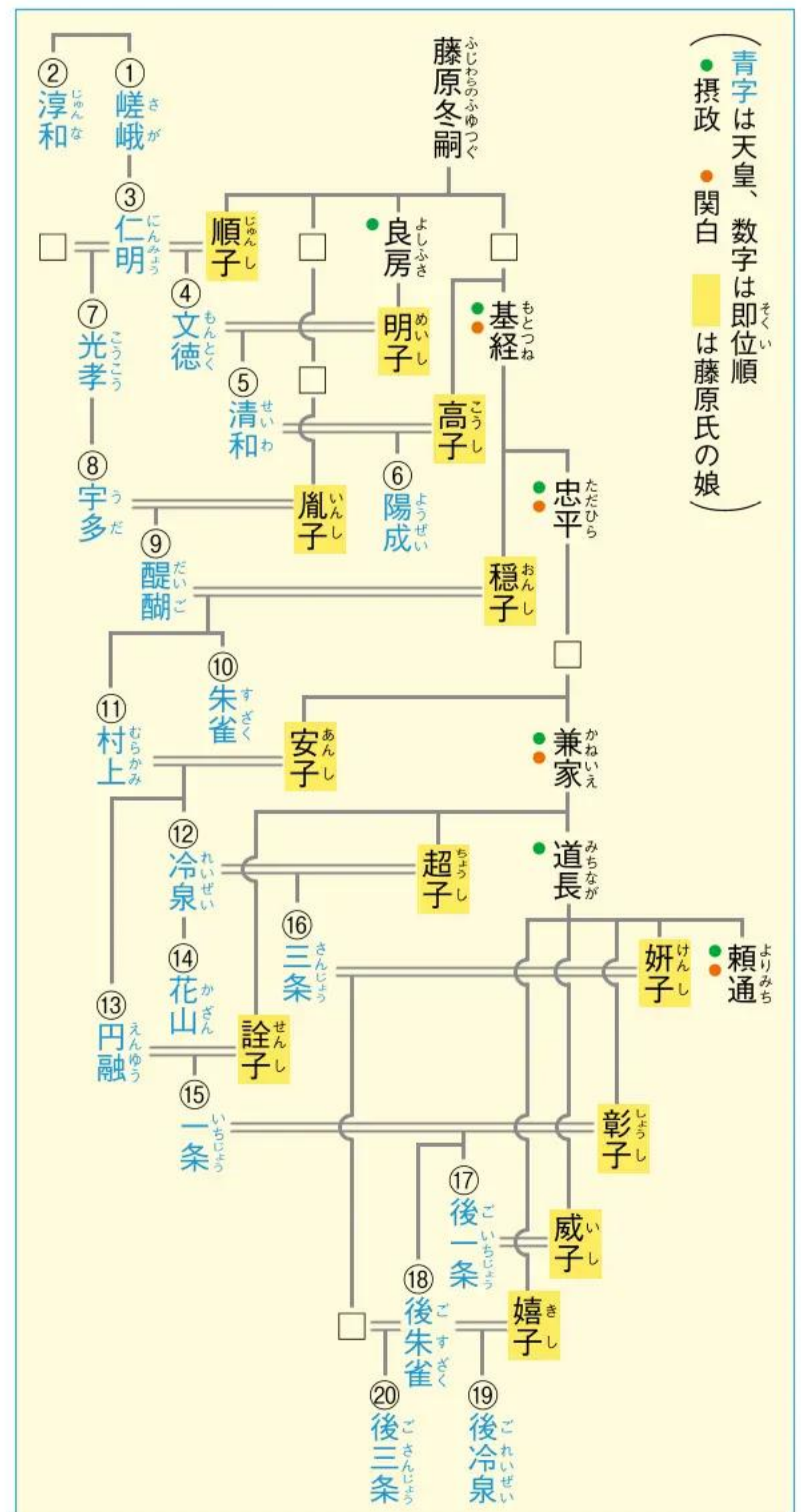
### (1) 摂関政治

① **摂関政治**…**藤原氏**は娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのばす。天皇が幼いときは**摂政**、成長後は**関白**の職について政治の実権をにぎる。

② **藤原道長**・**頼通**父子の時代…摂関政治が最も安定した時期。藤原氏は、太政官の多くの役職を独占し、高い給料を受け取る。

年代	できごと
784年	桓武天皇が都を長岡京に移す。
794年	桓武天皇が都を平安京に移す。
802年	坂上田村麻呂が胆沢城を築く。
805年	最澄が唐から天台宗を伝える。
806年	空海が唐から真言宗を伝える。
894年	遣唐使の中止が提案される。
905年	紀貫之らが『古今和歌集』を編集する。
936年	高麗が朝鮮半島を統一する。
960年	宋（北宋）がおこる。
1000年ごろ	清少納言が『枕草子』をあらわす。 紫式部が『源氏物語』をあらわす。
1016年	藤原道長が摂政になる。
1017年	藤原頼通が摂政になる。
1053年	平等院鳳凰堂ができる。

### ◆皇室と藤原氏の関係



### ●藤原道長の栄華（部分要約）

寛仁2(1018)年10月16日  
 今日(威子(道長の娘)を皇后に立てる日である。…太閤(道長)が私を呼んでこう言った。「和歌をよもうと思う。ほこらしげな歌ではあるが、あらかじめ準備していたものではない。」  
 この世をばわが世とぞ思う  
 望月の欠けたることも無しと思えば (『小右記』)

(2) 国司の変化

- ① 税のしくみの変化…班田収授法が行われなくなる。  
→租・調・庸・労役のかわりに耕している土地の面積に応じて米を納めさせる。→律令国家のしくみがくずれる。
- ② 地方政治の乱れ…政治を立て直すために国司の権限を強める。→任地に代理人を送り収入だけを得る国司が多くなり、地方の政治は乱れた。

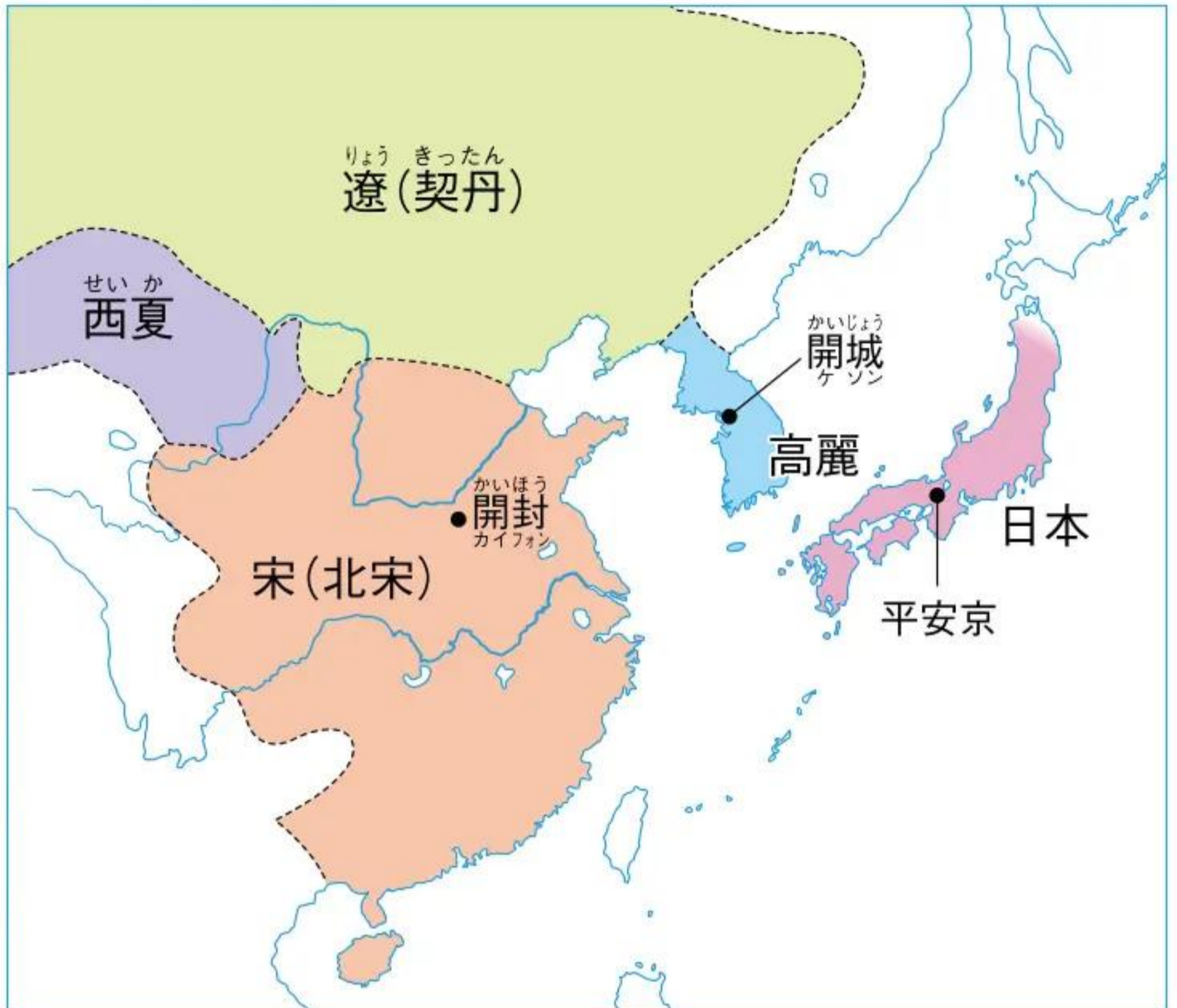
●国司の暴政（部分要約）  
尾張国（現・愛知県）の国司藤原元命が、この3年間に  
行った不法な税の取り立てと乱暴について、31件の  
ことを裁いてくださるよう、尾張国の郡司・民衆が  
太政官にお願い申し上げます。  
— 定まった税のほか、この3年間で、さらに税12  
万9374束あまりを取り立てたこと。  
（「尾張国郡司百姓等解」）

4 国風文化と浄土信仰

(1) 唐の滅亡

- ① 中国…10世紀の初め、唐がほろぶ。→小国の分立を経て、**宋**（北宋）が中国を統一する。
- ② 朝鮮半島…**高麗**がおり、**新羅**がほろんだ。

◆11世紀の東アジア



- (2) 国風文化…遣唐使の中止などを背景に、日本の風土や生活、日本人の感情に合った貴族たちの文化が生まれる。この文化を**国風文化**という。

- ① **仮名文字**…漢字を変形させて、日本語の発音を書き表せるようにくふうした文字。9世紀末ごろから仮名文字による作品が多く生まれる。藤原氏から出た天皇のきさきなどに仕える女性も多く、仮名文字を使って作品を残した。

●**紀貫之**…『古今和歌集』

を編集。

●**紫式部**…『源氏物語』

●**清少納言**…『枕草子』

◆漢字から仮名文字への変化

平仮名	安 → 安 → あ	片仮名	阿 → ア
	以 → 以 → い		伊 → イ
	宇 → 宇 → う		宇 → ウ
	衣 → 衣 → え		江 → エ
	於 → 於 → お		於 → オ

◆源氏物語絵巻



▲『源氏物語』の名場面が絵巻物としてえがかれている。

- ② 天皇や貴族の服装…唐風から、ゆったりした独自のものに変化する。

- ③ 貴族の住宅…複数の建物が廊下で結ばれ、広い庭や池のある**寝殿造**。

(3) 浄土信仰

- ① **浄土信仰**…念仏を唱えて、阿弥陀如来にすがり、死後に**極楽浄土**へ生まれ変わることを願う。
- ② 極楽浄土…阿弥陀如来がいる、あらゆる苦しみのない世界。念仏を唱えていた者は、死後、極楽浄土に生まれ変わると信じられる。

◆平等院鳳凰堂

- ③ 都の貴族からしだいに地方にも広まる。
- ④ 阿弥陀如来の像や阿弥陀堂がつくられる。  
●**平等院鳳凰堂**（京都府の宇治）…藤原頼通が建立。鳳凰がつばさを広げたような美しい形をしている。

